

# 都市デザイン研究室

にわ  
＜丹羽研究室＞

環境創生学科 都市環境分野

准教授 丹羽由佳理

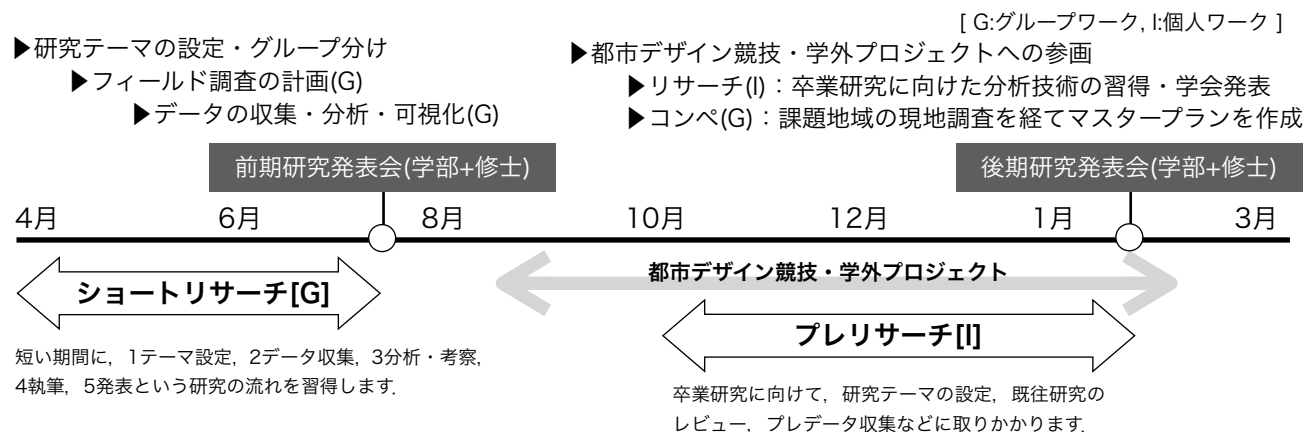
博士(環境学), 一級建築士

## 01. 事例研究の目標

当研究室は、「快適・安全・持続可能な都市環境の構築」に向けた研究に取り組んでいます。誰もが使いやすい快適な都市、災害に備えた安全な都市、環境負荷を低減する都市を構築するためには、実態把握と分析が不可欠です。事例研究では、以下に示す「3つの技術」の習得を目指しています。これらの技術は、環境負荷軽減や環境共生を念頭に置いた都市環境の研究においてとても重要です。

- ✓ 「現場を読む技術」の習得  
都市環境を把握するために、様々なデータを用いて定量的な分析手法を学びます。
- ✓ 「思考する技術」の習得  
企業やまちづくり団体とのネットワークをいかして、思考する力を養います。
- ✓ 「表現する技術」の習得  
分析結果の可視化、都市計画マスタープランの作成など、豊かな表現力を身につけます。

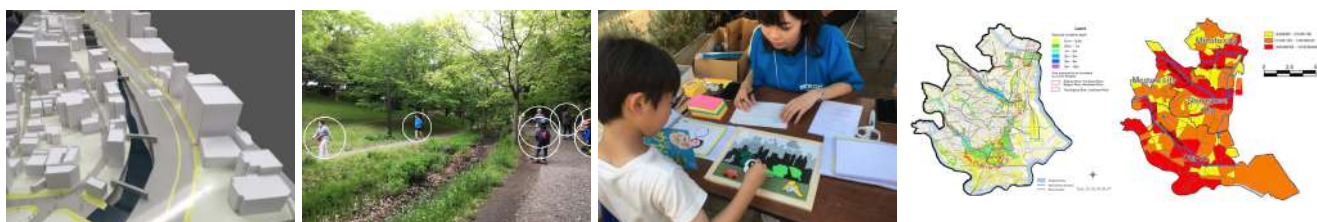
## 02. 研究の進め方(年間スケジュール)



## 03. 事例研究テーマのジャンル

研究テーマは個人の希望に応じて設定することが可能です。ただし既存にあるデータだけではなく、オリジナルデータを自分たちの力で収集・分析することがルールです。

- 都市型水害への備えと環境デザイン  
人々の防災意識や外出行動を把握することにより、都市の災害耐性を検討するための研究です。
- 公共交通のユニバーサルアクセシビリティ  
少子高齢化に向けて、シニア世代や子育て世代が感じる都市の不具合を解消するための研究です。
- 建築空間と人間行動の関係性  
既存建築の転用が増加する社会において、使いやすい安全な空間を計画するための研究です。



河川沿い空間の模型製作・緑道フィールド調査・子どもを対象としたワークショップ・GISを用いた都市解析など多様なテーマを扱っています。



## 04. 卒業研究の目標

事例研究で学んだ技術をいかし、都市環境に対する疑問や課題を出発点として卒業研究に取り組みます。研究テーマは、個人の希望に応じて設定することが可能です。ただし、日本建築学会、日本都市計画学会などの学会で発表(報告)することをルールとしています。意欲のある学生は、審査付き論文や国際学会にも挑戦することができます。

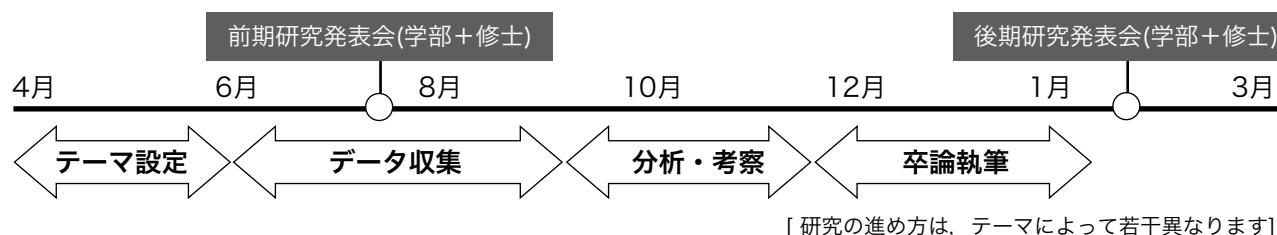
### ✓「都市環境に対する疑問や課題を出発点に」

できるだけ多くの街を歩き、都市環境に対する疑問や課題を出発点に研究テーマを設定してください。人々が使いにくい空間や、困っている要素を見つけてください。

### ✓「フィールド調査・データ収集・分析・考察」

卒業研究では、自らテーマを設定し、調査の計画を立てます。フィールド調査を通じてデータを収集し、分析・考察をしていきます。分析結果を卒業論文としてとりまとめます。

## 05. 卒業研究の進め方(年間スケジュール)



## 06. 卒業研究テーマのジャンル

調査方法は、避難行動シミュレーション、地方小都市のまちづくり、GIS Survey123を使った行動観察調査、シニアを対象にした避難歩行調査、アンケート調査など多岐に渡ります。環境負荷軽減や環境共生を念頭に置いて、定量的な手法から都市環境を分析します。学生の興味・関心を軸に研究を進めていきます。

## 07. 卒業後の進路

主な就職先は、都市開発・まちづくり・IT・建設コンサルタント・行政など様々です。また、大学院進学をする学生も多くいます。以下に卒業後の進路を一部掲載します。



国際会議 優秀発表賞受賞



産学チャレンジプログラム最優秀賞

### [就職先]

凸版印刷株式会社  
NEC (日本電気株式会社)  
昭和株式会社  
大日本コンサルタント株式会社  
国際航業株式会社  
株式会社東急コミュニティ  
公務員など

### [大学院]

東京都市大学大学院  
東京工業大学大学院  
茨城大学大学院など

